

2人で乗り越える、子宮頸がん

1人より、2人。一緒に考えることが、子宮頸がんの予防につながります。

〔お話〕 西岡 留美子さん（仮名）
越前市在住、30代。結婚7年目。夫・長女・長男の4人暮らし。3年前に検診で子宮頸がんが見つかり、子宮・卵巣の全摘出手術を受ける。



第2話

夫と私

「大丈夫や」

主人の言葉が、一番嬉しかった。



子宮がん検診の結果を、主人には電話で伝えました。夜、帰ってきた主人に、私は婦人科の先生から聞いた内容を、そのまま伝えることしかできませんでした。女性がかかる病気なのに、子宮頸がんについてよく知らなくて。「とにかく精密検査をしてもらおう」と、その夜は話を終えました。

当時、私は看護師をしていました。人の命にかかわる仕事です。どんなことがあっても、ミスは絶対に許されない。緊張した職場なのに、何をしても襲われる「がんへの恐怖」と板挟みで、本当にしんどかった…。不安を隠せず、主人の前でどれだけ泣いたかわかりません。

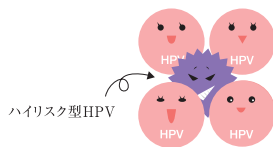
「ちゃんと手術してもらおう。大丈夫や」

何度も何度も、主人は私の気持ちが落ち着くまで言葉をかけてくれました。不安を受けとめてくれたその一言が、本当に嬉しかった。手術を受けよう。体を一番に考えよう。2人の意見は同じでした。

子宮頸がんは女性の病気ですが、セックスで感染するウイルスが原因です。パートナーの男性にもきちんと病気を理解してもらえたら、これほど心強いことはありません。男性には、女性に対して、検診を受けるよう一声掛けてもらいたいです。大切な人からの一言が、予防のきっかけになると思うから。

主人は、いつも私を気遣ってくれました。がんの恐怖でふんばれないとき、家事を手伝い、物理的にも精神的にもサポートしてくれたのには、感謝しかありません。3週間の入院中は、1日おきに福井市内まで見舞いに来てくれたり、週末の度に子どもを連れて会いに来てくれたり。本当に、励まされました。

知り合って3カ月で結婚。付き合いが短かった分、一緒に暮らし始めた頃はお互いに未熟だということもありました。これからの、どう生きていくか。「子宮頸がん」という病気を経て、主人の気持ちを深く知れたように思います。



【HPV（ヒトパピローマウイルス）】

子宮頸がんの原因となる、どこにでもいるウイルス。女性なら一生に一度は感染するといわれている。ウイルスを体の外に排出できず感染が続くと、子宮頸がんを発症する可能性が高くなる。

※ 第1話は [ふくいキレイ女子大] ホームページでご覧いただけます。

健康でキレイなわたしに
ふくいキレイ女子大

www.kirei-univ.com

「ふくいキレイ女子大」は、キレイと健康を学べるカリキュラムを展開中です。

□主催／福井新聞社 □後援／福井県、福井県医師会、福井県産婦人科医師連合、福井県看護協会、福井県健康管理協会、福井商工会議所、敦賀商工会議所、武生商工会議所、大野商工会議所、勝山商工会議所、小浜商工会議所、鯖江商工会議所、NPO法人オレンジティ

《お問い合わせ》 福井新聞社営業局 kirei-univ@fukuishimbun.co.jp

アサヒ生命保険株式会社 redefining / standards	esm 永相システムマネジメント	王子ホールディングス株式会社	小林化工株式会社	セーレン株式会社	Shinetsu 日信化学工業株式会社	北陸銀行
株式会社 エル・ローズ	Otsuka 大塚製薬	清水紙料	ナカテック	福井機互	三好	
株式会社 エイチアンドエフ	エゼール	株式会社 津波屋 ばーしもん	Chopin ダイニングレストラン ショパン	The N's 仲村の家具	株式会社 フクイプロダクトマイスター	やまもと